

【特集】

残り

1次試験直前！ 合格者が教える 1カ月の過ごし方

平成 28 年度中小企業診断士1次試験まで残り約1ヵ月。
受験生の皆さんは、本番に向けて
そろそろラストスパートに入る頃だろう。
本特集では、さまざまな属性の合格者たちに、
1次試験直前にやって良かったこと・
やらなくて良かったことを伺い、
受験生を交えた座談会ではさまざまな
疑問や悩みにも答えていただいた。
ぜひお役立ていただきたい。



- 「やるべきこと」と「やらないこと」を見極めよう！
——残り1ヵ月で合格レベルに到達するために
津田まどか
- 得意科目に注力して苦手科目をカバー
——暗記系科目の詰め込みで、試験も家庭も合格ババの場合
佐谷 友邦
- 領域を絞った回転学習で苦手科目を攻略
——財務・会計恐怖症の直前追い上げ型 SE の場合
江波戸良光

- 現状と目標のギャップを分析し、
計画を立てて20点アップ！
——やらないことはバツリ切り捨て営業マンの場合
北田 健太
- 絶対に乗り越えてみせる！
一発ストレート合格への壁
——経済学・経済政策の点数がプレプレで悩んだ専業主婦の場合
川崎 朋子
- 受験生がいま、聞きたいことに答えます！
——執筆メンバー×受験生 質疑応答座談会
(江波戸良光×川崎朋子×北田健太×佐谷友邦(五十音順)×受験生2名)
(司会・文) 津田まどか

1次試験直前！

【特集】……………合格者が教える残り1カ月の過ごし方

1

「やるべきこと」と 「やらないこと」を見極めよう！

——残り1ヵ月で合格レベルに到達するために

津田まどか
TAC中小企業診断士講座専任講師／中小企業診断士



- 残り1ヵ月しかない、されど1ヵ月はある
- 1ヵ月で合格レベルに到達するために不可欠なこと

皆さんがこの記事をご覧になる頃は、各予備校の全国模試が実施される時期で、本試験が間近に迫ってきたことを実感されているでしょう。

模試の結果は、これまで頑張ってきたことの結果が点数や判定といった形で明確にわかるものですから、手応えを感じて俄然やる気がわいてきた方もいらっしゃると思います。一方で、惨憺たる結果に意気消沈してしまった方や、やる気が失せてしまった方もいらっしゃるかもしれません。模試と言えども、本試験同様に悲喜こもごもです。

私の受験生時代、模試の結果はC判定でした。大半の皆さんと同様に、会社員として働きながらの受験勉強ではありましたが、毎週末通学講座に行き、月間の平均学習時間は130時間程度でした。

当時、人一倍頑張っている自信があったにもかかわらず、模試の7科目総得点が360点台だった私は、単純計算で1科目あたり10点近くを上乗せしなければならない現実が目の前が真っ暗になり、途方に暮れたものです。そこで、同じ予備校の先輩に相談したところ、こんな風に言われました。

「まだ1ヵ月もあるんだから、合格レベルまで十分に伸ばせるよ」

当時の私は、残り1ヵ月で合格点の420点に到達するために、不足している60点分の実力を身につける方法として、先輩から3ステップのアドバイスを受けました。

現状把握	模試と答練の自分の点数と平均点から、科目ごとの実力を正確に把握する
目標設定	科目ごとの本試験における目標点数を設定し、現状とのギャップを把握する
ToDo or Not ToDo	ギャップを埋めるために、やるべきこととやらないことを決める

- 現実を直視せよ！
模試や答練の結果が芳しくない、とても情けなく苦しい気持ちになるものです。でも、考えてみてください。それまでにどれほど悪い点数を取っても合否に関係はなく、本試験で合格点を取れば良いのです。落ち込んだり迷ったりしても、1点の上乗せにもなりません。
ここで必要なのは、嫌なこと (=悪い点数) から目を背けずに現状を受け入れることです。まずは、全受験科目の答練や模試の点数と平均点を、